

来年4月からの市立幼稚園・保育園・認定こども園の利用について

子ども・子育て関連3法に基づき、幼稚園・保育園・認定こども園等に関する制度が、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度(新制度)に移行する予定です。

幼稚園や保育園などの利用対象者が変わることはありませんが、各種様式等が変更になることから現在、入園申し込みに必要な準備を行っています。

そのため、来年度の入園手続きについては、広報やわた11月号でお知らせします。

なお、私立の早苗幼稚園、なるみ幼稚園および歩学園幼稚園(1号認定・幼稚園部分に限る)につきましては、例年と同様、各園に申し込んでください。

※歩学園幼稚園は、平成27年度より認定こども園への移行を予定しています。

■利用には認定が必要です
新制度では、幼稚園・保育園・認定こども園の利用を希望する保護者の皆さんは、利用のための認定を受けていただくことが必要になります。

認定には、子どもの年齢や保護者の就労等の状況に応じて、表のとおり1号認定から3号認定まで3つの区分があり、認定区分によって利用できる施設が決まります。

■ 認定区分と利用可能施設

認定区分	対象者	利用可能施設
1号認定 (教育標準時間認定)	子どもが満3歳以上で、幼稚園等で教育を希望する場合	幼稚園 認定こども園(幼稚園部分)
2号認定 (保育認定(3歳以上)※①)	子どもが満3歳以上で、「保育の必要な事由」※②に該当し、保育園等で保育を希望する場合	保育園 認定こども園(保育園部分)
3号認定 (保育認定(3歳未満)※①)	子どもが満3歳未満で、「保育の必要な事由」※②に該当し、保育園等で保育を希望する場合	保育園 認定こども園(保育園部分)

※① 2号、3号認定では、さらに保育の必要量に応じて保育標準時間認定と保育短時間認定の2区分が設けられます。

※② 「保育の必要な事由」については、広報やわた11月号でお知らせします。

* 一時預かり事業 *

一時預かり事業は、保護者が週1日から3日間だけ継続的に働いたり、けがや病気で入院したりなどの理由で、家庭で保育するのが困難となった場合に、満6カ月から就学前の児童を保育園で預かる事業です。

▽実施保育園

- 山鳩保育園(☎981-0982)
- 山鳩第二保育園(☎981-0700)
- くすのき保育園(☎983-1200)

▽利用日時 月～土曜日(祝日・年末年始を除く)の午前8時30分～午後4時30分(事情により延長できます)

▽利用料金(1日)

- 0歳児 2,500円
- 1・2歳児 2,000円
- 3歳児以上 1,500円

※別途給食費として、300円が必要です。

▽申し込み 直接、実施保育園に申し込んでください。

◆問い合わせ 保育・幼稚園課

■ 病児保育事業

病児保育事業とは、病気やケガ等で保育園等に通えない児童を、病院に付設された専用のスペースで一時的に預かるものです。

従来の乳幼児健康支援サービス事業(病後児保育事業)では利用できなかった病中の児童もご利用いただけます。

▽対象 市内に居住し、次のいずれにも該当する児童

- ① 生後6カ月から小学校4年生までの児童
- ② 病中や回復期にあるため保育園等に通えない児童
- ③ 保護者が就労や疾病等のやむをえない事情で、家庭で保育ができない児童

▽利用方法 利用には、事前登録や予約、医師の診察が必要になります。詳しくは、各施設や保育・幼稚園課にお問い合わせください。

◆問い合わせ 保育・幼稚園課

ファミリープレイランド・2014

参加者募集

親子で楽しく遊ぼう

■ サイバーホイール



■ エアトラック



■ マグフォーマー



日時 11月21日(金)・22日(土)
両日とも午前10時～正午、午後1時30分～3時30分
場所 子育て支援センター「あいあいポケット」(指月児童センター内)
対象 市在住の就学前の子どもとその保護者
定員 各日午前・午後、各100人
内容

- ・大型遊具コーナー
(サイバーホイール・エアトラック)
- ・ごっこ遊びコーナー
(ままごと 他)
- ・組立遊びコーナー
(マグフォーマー・プレイスティックス 他)

※大型遊具のコーナーについては混雑を避けるため、入場時間指定をさせていただきます。

申し込み 往復ハガキまたは申込用紙(市ホームページまたは子育て支援センターで配布)に、①参加者全員の氏名および子どもの年齢②連絡先住所・電話番号③希望日、希望時間(午前または午後)を第1希望・第2希望まで記入し、(〒614-8361 八幡市男山指月3-11)子育て支援センター「あいあいポケット」へ往復ハガキを郵送または申込用紙を子育て支援センター窓口へ提出。

受け付け 10月6日(月)から受け付け、定員になり次第締め切ります。その他 動きやすい服装でお越しください。希望日、大型遊具コーナーの希望時間にそえない場合がありますので、ご了承ください。

◆問い合わせ 子育て支援センター「あいあいポケット」(☎983-8747)

病院名	医聖会 京都八幡病院	美杉会 男山病院
施設名	病児保育室たんぽぽ 	男山病児保育室 
住所	川口別所67-1	男山泉19
定員	4人	6人
電話 FAX	981-7006	982-5130
開設日時	月曜日～金曜日 午前8時～午後5時30分 土曜 午前8時～正午 ※日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は休業	
利用料金	1日1,800円(土曜日は1,000円)、当日保育室で支払い。 ※食事代(昼食・おやつ)として、別途1日500円が必要(土曜日は、半日保育のため食事なし)。 生活保護世帯、市民税非課税世帯には減免制度あり。詳しくは、保育・幼稚園課まで	

子育て世帯臨時特別給付金の申請受け付け中

子育て世帯臨時特別給付金の申請期限は、11月28日(金)ですが、早め



に手続きを完了してください。※申請期限を過ぎた場合は、給付を辞退したものとみなしますのでご注意ください。◆問い合わせ 子育て支援課

子ども・子育て支援新制度③

子育て支援に関するアンケートの調査結果について②

前回に引き続き、アンケート調査の結果の概要についてお知らせします。市では、国や府の調査項目のほかに、小学生の保護者を対象に「子育て肯定感」「発達資産(外的資産・内的資産)」「ポジティブな養育」の3項目について調査をしました。その内容は次のとおりです。



「発達資産」について

子どもの成長・発達段階で他者との相互交流を通じて身につけることが期待される、または獲得することが望ましいとされる能力や態度を「発達資産」という考え方があります。

「発達資産」は40項目あり、大きく「内的資産」と「外的資産」に分類され、内的資産は、子どもの好ましい心理的(内面的)な成長・発達を反映する特性や

行動を指し、外的資産は、子供を取り巻く「環境」(具体的には、家庭、学校、地域などの場やその場で生活している人々から受け取る好ましい経験)を意味しています。

子どもがまわりから受ける好ましい経験と子どもの好ましい心理的成長・発達を反映する特性や行動を乳幼児期から積み上げていくことは、子どもの健全な発達において非常に重要です。

調査結果をみると、保護者自身、子どもの成長過程において、家族との会話や

家庭におけるしつけ、基本的な生活習慣などの形成の重要性を肯定的に捉え、前向きに取り組んでいることがうかがえます。また「思いやり」「誠実さ」などが、子どもの好ましい価値観の形成が重要視されていて、子ども自身も十分身につけている傾向となっています。

一方、子どもの成長における地域との関わりや読書の習慣の必要性、学校や地域社会への愛着心が重要視されていない傾向にあり、またこのような中で、子どもの成長・発達段階に際して身につけることが望ましい発達資産を積み上げるための支援が求められます。

「ポジティブな養育」について
子どもの成長や学びが促進され、重要な能力を身につけやすくなると考えられる子どもとの接し方(ポジティブな養育)は、子どもの健全な発達においてとても大切なことです。

保護者の8割以上が、日常生活の何気ない子どもへの声かけやふれあいを重要であると感じており、前向きに取り組んでいる状況がうかがえます。

*アンケート調査全般から

質の高い教育・保育の提供について

現在、市においては保育園および幼稚園の待機児童はいませんが、アンケート調査の結果をみると、母親の就労意向が高くなっている傾向がうかがえます。今後0~2歳の乳児をもつ保護者の保育ニーズは継続して高い状況が予想されま

子どもの豊かな人間形成を支える環境づくりについて

そのような中で、質の高い幼児期の教育、保育の提供も求められています。本市では府内で初めて認定こども園を開園しました。今後認定こども園化の推進の検討が必要です。また、小学生についても、放課後の子どもを継続的に受け入れる場として放課後児童クラブの充実とともに、放課後子供教室(放課後学習クラブ)との連携による総合的な放課後の子どもの居場所づくりが必要です。

今後、教育・保育の充実に計画的に進めることも

子どもの健全な育ちのためには、家庭や地域、学校・園および行政が共通の認識を持って取り組むことが重要であり、そのためには、子どもの発達段階に応じた目安のようなものが必要であると考えられます。

アンケート調査結果をみると、乳幼児期の家庭においては、保護者自身、子どもの成長過程において、家族との会話や家庭におけるしつけ、基本的な生活習慣

進まれ、重要な能力を身につけやすくなると考えられる子どもとの接し方(ポジティブな養育)は、子どもの健全な発達においてとても大切なことです。

保護者の8割以上が、日常生活の何気ない子どもへの声かけやふれあいを重要であると感じており、前向きに取り組んでいる状況がうかがえます。

本市では「発達資産」の考え方を活用して、発達資産の形成を支援するための家庭、地域、学校、行政のあり方を検討することや不足がちな発達資産の項目を明らかにし、それを積み上げていく教育プログラムを準備していく取り組みなどが今後の課題と考えられます。

子ども・子育て支援に関するアンケート調査の概要については、市ホームページを参照ください。

子ども・子育て支援新制度に関する情報は、国のホームページ「内閣府 子ども・子育て支援新制度」(http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/)を参照ください。

◆問い合わせ 子育て支援課

「子育て肯定感」について

子育てに対して楽しさや充実感を持っている保護者が7割前後で、大多数の保護者が子育てに張り合いや生きがいを感じ、楽しいと思っています。しかし一方で、楽しいと思っていない保護者が3割以上、充実感を味わっていない保護者が

2割以上います。また、親としての自信や自己評価が5割前後と全体にそれほど高くありません。

夫婦関係の良さ、人とのコミュニケーションがうまくできること、近所の人と親しくつきあっていることなどが、子育て肯定感を高めている要因としてあげられます。

子育てに対して楽しさや

充実感などの肯定的な気持ちを持つことは、忙しい日々の中で子どもに関するゆとりや意欲の源となり、子どもにとって良質な養育

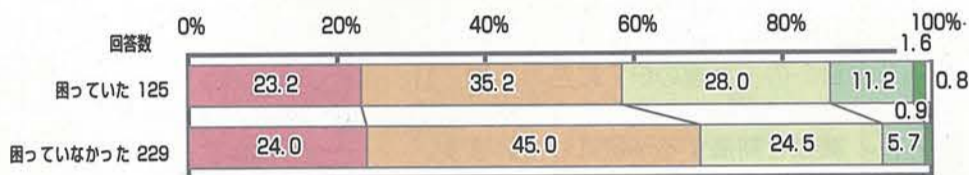
調査結果をみると、保護者自身、子どもの成長過程において、家族との会話や



<子育て肯定感について>

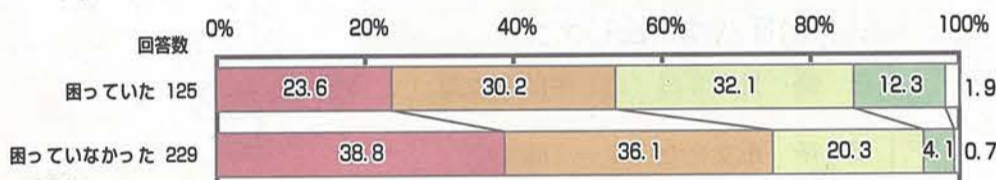
■夫婦関係

①「子育てが楽しいと感じているか」と「夫婦関係がうまくいって困っていたか」の関係(小学生)



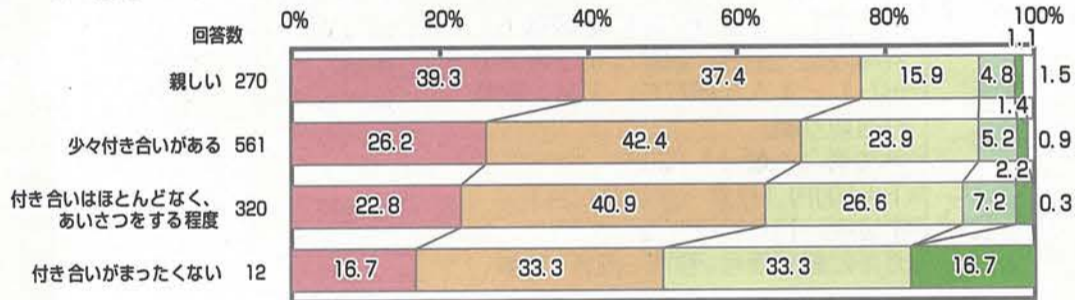
■人とのコミュニケーション

②「子育てに充実感を味わっているか」と「人とのコミュニケーションに困っていたか」の関係(小学生)



■近所づきあいの程度

③「子育てが楽しいと感じているか」と「近所づきあいの程度」の関係(小学生)



■あてはまる ■ややあてはまる ■どちらともいえない
■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■無回答